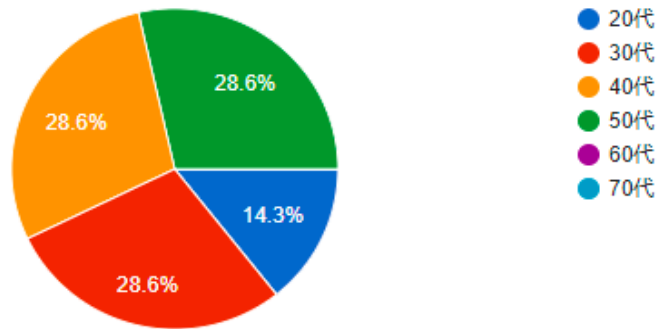


# 令和3年8月18日（水）施設部会 アンケート集計結果

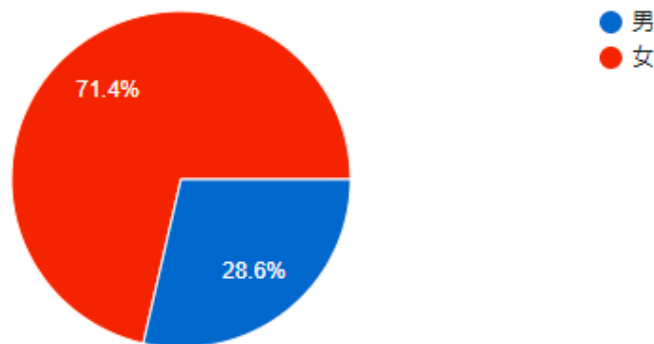
テーマ：ACPとは

施設での人生アルバム活用方法について

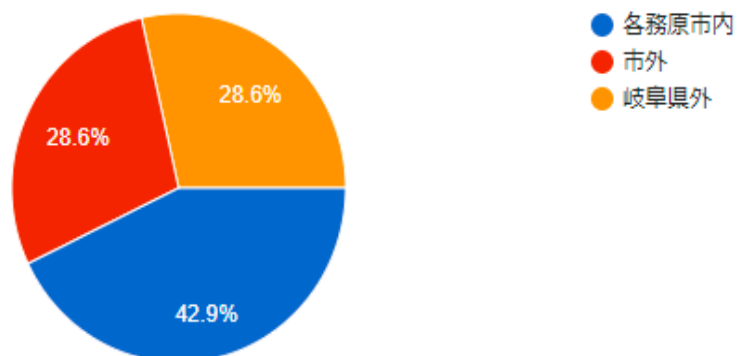
## （1）年齢



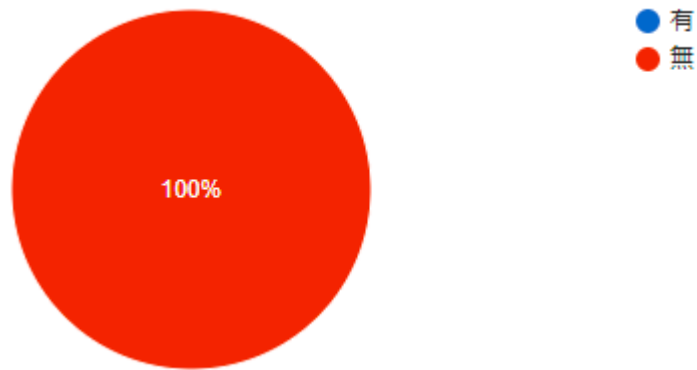
## （2）性別



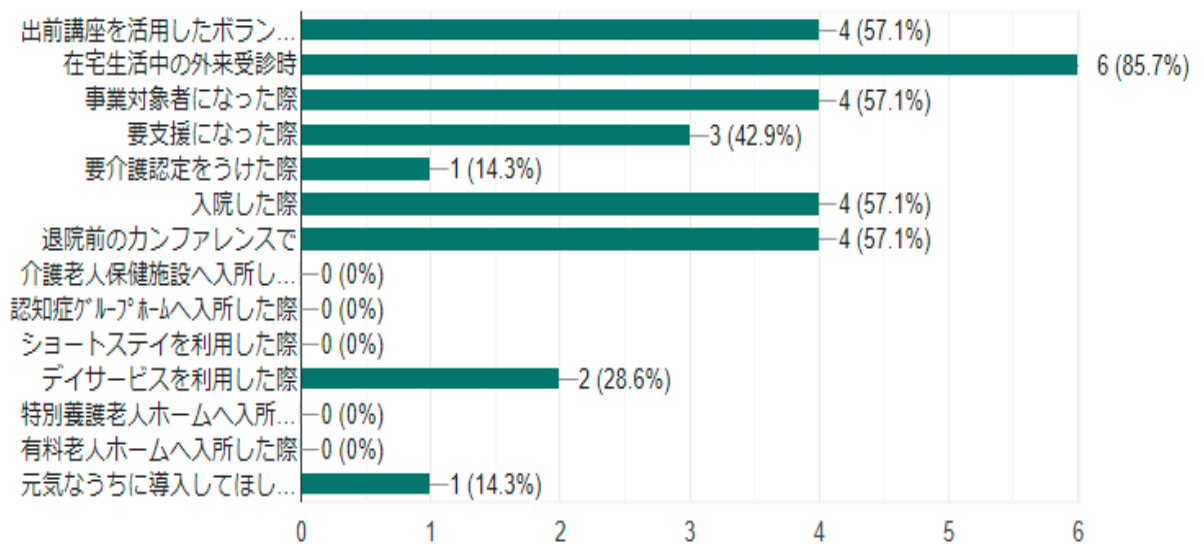
## （3）回答された方のお住まい



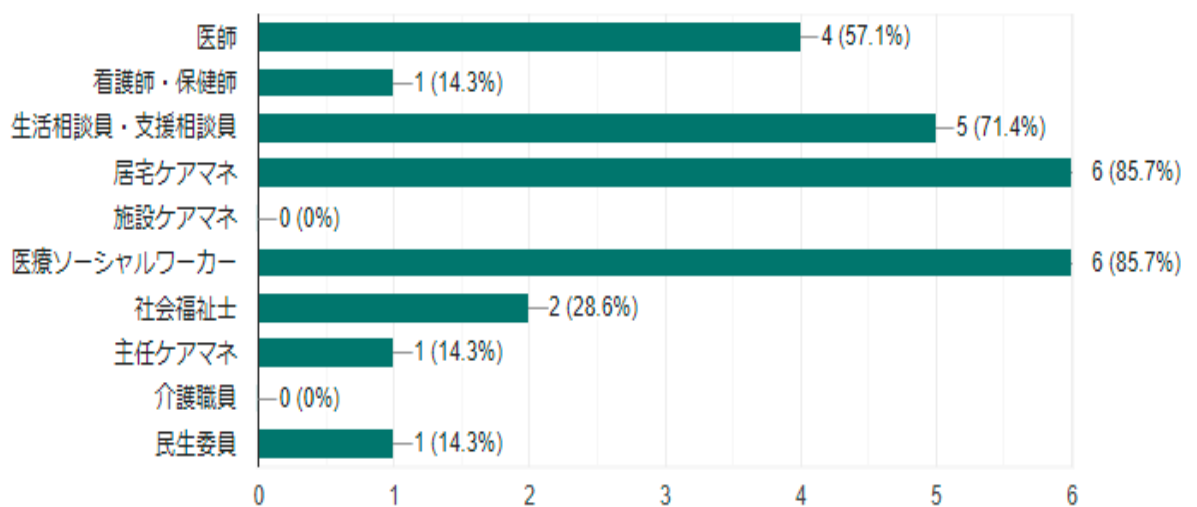
(4) 人生アルバムの冊子の内容として「変更」や「追加」したいところがありますか？



(5) 冊子を導入できる場面はいつだと思えますか？（複数回答可 5つまで）



(6) 冊子を導入する人はだれが望ましいでしょうか？（複数回答可 5つまで）



## (7) 冊子はどのように（場所・声掛け等）勧めることが適切でしょうか？

- ・冊子を進める際、何かのきっかけがあるといいと思います。
- ・病院、市役所（高齢福祉課）（介護保険課）、地域包括支援センターなど。声掛けは施設入所など考えている時に冊子を紹介するといいかないと思いましたが。
- ・在宅で生活している段階での医療や地域包括と関わる場面で、現在こういった取り組みを各務原市は進めています。とお声がけ頂けると施設職員としては大変有難いです。現状、きっと冊子を受け取っても記入しないままにってしまうと思います。エンディングノートや終活という言葉が徐々に浸透してきていると感じますが、近い将来【人生アルバム】も記入しておく事が当たり前の存在になる事を願います。
- ・ケアマネジャーが着いた時や、退院で自宅等へ帰る時などで案内があると、自己決定ができるタイミングだとより活用できるのではないかと思います。
- ・施設に入居する前には記入されていたほうがいいと思うので、自宅で行えるのが一番だと思う。民生委員さん等身近な行政者が進めるのもいいのでは？
- ・冊子を手にした時や入所申し込み時等で声をかけるタイミングが大切だと感じます。
- ・学校単位